

支援者の目線
と
企業の目線

支援者の目線

■取り組みの切っ掛け

- 1 配慮や支援力強化に伴う依存や甘えの出現
- 2 従来の管理シートでは悪化の兆候が掴みにくい
- 3 K-STEP は本人主体だと感じられた
- 4 コストやリスク負担が低い
- 5 採用できる場所の拡大につながるきっかけに

=その時当事者は=
体調不良があった
その兆候がつかめたらと考えていた

支援者の目線

■始める際の悩み

- 1 自己理解が進む上での不調者出現の可能性
- 2 バランスを欠いた配慮要求や依存の強化
- 3 一時的ではない継続実行

=その時当事者は=

サインの書き出しが大変そう

自分のサインを見つけるのが大変そう

企業が目線

■導入前の問題意識

- 1 自分の症状や特性を理解していない
- 2 自身の体調管理への関心が低い
- 3 セルフケアの重要性を伝えても自発的に実行されない

企業の目線

■導入後の感想

- 1 日々の**管理が楽**になった
- 2 **自律性が向上**した

＝その時当事者は＝

短時間で付けたり、報告できた 今でも緊張はしますが、、、
日々の生活の流れに組み込んだ

企業の目線

■発生した問題と対処策

- 1 簡単に報告することができない
＜対処＞
指導できる上司に報告する**習慣を作る**
- 2 サインに拘り過ぎる、つけることのみが目的に
＜対処＞
シートを付けて報告のみでなく、セルフケアの重要性を伝え、実際にその**経験をしてもらった**
- 3 継続できない
＜対処＞
できている人たちの存在に**気づいてもらう**よう促した